

I. 教育

1. 湯浅農場

1) 農場実習

農学部農業生産科学科と応用生命化学科の「農場実習」(3年生, 選択, 2単位), バイオサイエンス学科の「バイオ実習」(3年生, 選択, 2単位)で, 月曜から土曜日までの6日間, 集中実習方式で実施している。

応用生命化学科とバイオサイエンス学科は夏季休暇中に実施し, 農業生産科学科は夏季休暇期間を省く, 5月～12月までの期間に実施している。平成22年度の実施実績は第1表の通りである。

学習・教育目標および到達目標としては, 附属農場での農作業を体験することにより, 個々の作物の栽培技術を学ぶとともに, 商品性を高める管理技術, 安全で, 効率的な作業方法や農作業に関する理念を学ぶ。さらに, 農場での実習やセミナーハウスでの共同生活を通して, 集団行動での責任感と協調性を養う。

実習日程としては, 月曜日はオリエンテーション, 農場の概要と栽培作物の栽培技術等の講義。火曜日～金曜日までは, 午前9時より午後4時30分まで農作業を行う。土曜日は午前中までとし, 基本的にセミナーハウスの清掃等を行うが, 実習を入れることもある。この間に, 農場で保存管理している柑橘系統・品種保存園等, 農場内を見学する。

実習内容としては, ミカン, マンゴー, ウメ, 水稲の管理を中心として行い, 他に, 防風林のせん定や粉碎したせん定枝と生石農場からでる家畜糞を混合して, 堆肥作りを体験する。また, 梅干し作業とパック詰め, ミカンの収穫期には, ミカンの収穫, 選別, 箱詰め等の作業を体験する。

成績評価方法および評価基準としては, 実習での作業態度と責任感, セミナーハウスでの生活態度等, 総合的に判断して評価する。

他に, 年間3回(計25名), 生物理工学部生物工学科生物生産工学研究室のウメ, ミカンのせん定, 収穫等の農場実習を受け入れている。



写真 セミナーハウス



写真 せん定枝や草の粉碎



写真 水稲の収穫作業



写真 ミカンの収穫作業

第1表 農場実習実施状況

学科名	研究室名等	期 間	人数	主な作業内容
農業生産科学科	植物感染制御工学研究室	5月10日～5月15日	12	マンゴー, ミカン管理
	植物感染制御工学研究室	5月17日～5月22日	11	水稲育苗, ウメ収穫
	育種工学研究室	9月10日～9月15日	17	マンゴー管理, ミカン摘果
	昆虫生態制御工学研究室	11月15日～11月20日	16	ミカンの収穫, 選果
	作物資源生産学研究室	11月22日～11月27日	21	ミカンの収穫, 選果
	園芸植物学研究室	11月29日～12月4日	14	ミカンの収穫, 選果
	園芸植物学研究室	12月6日～12月11日	13	ミカンの収穫, 選果
	植物人間関係学研究室	12月13日～12月18日	10	ミカンの収穫, 選果
応用生命化学科	農業政策学研究室	12月13日～12月18日	11	ミカンの収穫, 選果
	1班	8月2日～8月7日	13	マンゴー管理, 堆肥施用
	2班	8月30日～9月4日	17	マンゴー管理, せん定
	3班	9月6日～9月11日	6	マンゴー管理, 梅干し
バイオサイエンス学科	1班	8月16日～8月21日	24	マンゴー収穫, ミカン摘果
	2班	8月23日～8月28日	27	水稲収穫, ミカン園管理
合 計			212	

2) 学部教育

- ①農学部農業生産科学科 施設園芸学 (3年前期, 選択, 2単位) 担当 文室政彦
- ②農学部農業生産科学科 農学野外実験Ⅰ (1年生前期, 必須, 4単位) 副担当 文室政彦
農学野外実験Ⅱ (1年生後期, 必須, 4単位) 副担当 文室政彦
- ③理工学部教職課程 園芸学 (2年通年, 必須, 4単位) 担当 文室政彦

2. 生石農場

主に生物理工学部学生に対して, 見学, 体験学習または卒業研究の協力のため随時受け入れており, 家畜育種や繁殖学の実地研修の場として, 学部教育に協力している。

1) 学部教育

- ①生物理工学部遺伝子工学科 発生工学Ⅱ
(2年前期, 必修, 2単位) 担当 岸 昌生



写真 研修棟 (ログハウス) 全景